事業説明シート 1 管渠建設事業(継続)

部局課所 下水道部建設課
 総合計画 1章 環境と調和し快適に暮らす魅力あるまち
 6節 上・下水道の整備
 2項 下水道の整備
重点テーマ 2 環境と調和したまちづくりの推進

<p>【 事業の目的】</p> <p>下水道は、市民が健康で安全かつ快適な生活を送るうえで必要不可欠な都市基盤施設であり、浸水の防除、汚水の排除、トイレの水洗化といった生活環境の改善だけでなく、河川等の公共用水域の水質を保全するためにも重要な施設であり、今後とも積極的に整備を進める必要がある。</p> <p>下水道普及率は平成13年度末71.5%、平成14年度末74.5%の見込みで、平成17年度末目標を約80%に設定している。</p>	<p>【 事業の対象】</p> <p>全市</p>
<p>【 全体事業概要】</p> <p>H13～H22年度で総事業費55,392,000千円 H22年度末下水道普及率90%見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚水幹線 下新城金足幹線他 L=19,303m ・雨水幹線 太平川2号幹線他 L=3,599m ・汚水面整備 金足、新藤田、下北手、横森、仁井田、浜田、四ツ小屋、下浜地区等 A=1,610ha ・ポンプ場 改築(外旭川、土崎、馬場、中島、川口、牛島、新屋) 増設(広面) 	<p>【 新年度事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚水幹線3 下新城金足幹線、新藤田南町幹線、下北手桜幹線 L=1,591m ・雨水幹線1 太平川2号幹線 L=130m ・汚水面整備 金足、飯島鼠田、手形、新藤田、広面、下北手松崎、横森、桜、仁井田、浜田、四ツ小屋、下浜地区等 A=144ha ・ポンプ場改築(土崎)、増設(広面)
<p>【 備考】</p> <p>生活基盤施設として下水道の早期整備に対する市民の強い要望に応え、下水道の整備を計画的に推進する必要がある。</p> <p>H12年度の「秋田県生活排水処理整備構想」(H22年度目標の県全体の整備計画)策定時に、整備コスト・ランニングコスト(50年間を概算)を勘案して合併処理浄化槽(環境部所管)、農業集落排水(農林部所管)、公共下水道(下水道部所管)の事業適用区分の見直しを実施した。</p>	<p>【 国県施策名】 下水道事業の推進</p> <p>【 国補助率】</p> <p>【 県補助率】</p> <p>【 起債充当率】 85</p>

事業評価シート 1 管渠建設事業(継続)

<p>【 事業手法・推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】</p>	
<p>☐ 無 ☒ 有</p>	<p>整備コスト縮減、合流式下水道の越流対策が必要</p>
<p>【 民間事業との競合】</p>	
<p>☒ 無 ☐ 有</p>	
<p>【 住民ニーズ、行政需要の動向】</p>	
<p>☐ 増加傾向 ☒ 不変 ☐ 減少傾向</p>	<p>下水道早期整備の要望が多い</p>
<p>【 市が今行う必要性】</p>	
<p>☐ 無 ☒ 有</p>	<p>水洗化の普及拡大に向けての継続的实施</p>
<p>【 事業外部の条件整備(関連事業等)】</p>	
<p>☐ 問題無 ☒ 要配慮</p>	<p>都市計画道路整備等に係る新設や移設が伴う。</p>
<p>H14は汚水幹線新藤田南町幹線整備にあたり都市計画道路泉高梨線との工程調整を要する。</p>	

【 事業成果(アウトカム)指標】					
指標	下水道普及率				
選定理由	水洗化の普及拡大を表す指標として適切であり、他都市等との比較が容易				
計算・推計方法	処理人口 / 住民基本台帳人口				
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標	71.5%	74.5%	76.5%	78.5%	80.3%
実績					

【 事業成果指標・備考】 H12年度末の下水道普及率は全国62%、秋田県37%
--

12下水 1

事業説明シート 2 合流式下水道緊急改善事業(雨天時越流水対策)(新規)

部局課所 下水道部建設課
 総合計画 1章 環境と調和し快適に暮らす魅力あるまち
 6節 上・下水道の整備
 2項 下水道の整備
重点テーマ 2 環境と調和したまちづくりの推進

<p>【 事業の目的】 汚水と雨水を同一の管渠で排除する合流式下水道(本市の場合、昭和7～50年に整備された管渠。中央地区に多い)は、その構造上、雨天時において雨水吐やポンプ場から遮集下水量を上回る下水(オーバーフロー)が公共用水域(河川等)へ排出されている。このことは、河川等の水質保全・公衆衛生の確保および景観等の向上などの観点から問題があり、緊急に合流式下水道改善事業を実施する必要がある。</p>	<p>【 事業の対象】 八橋処理区(ほかに土崎地区、新屋地区、茨島地区に一部合流区域があるが、当面は緊急性の高い八橋地区から調査を開始する。)</p>
<p>【 全体事業概要】 合流式下水道改善計画を策定後、合流式下水道の改善を計画的に実施する。(従って、現段階では全体事業の概要は未定)</p>	<p>【 新年度事業概要】 現況調査(現況施設データの確認、合流区域に流入する分流区域の水量、越流先河川のデータ整理、降雨データの整理、浸水実績の把握等) 水量水質調査(八橋処理場の晴天時、雨天時水量、水質データの整理等) 現況解析(雨水吐室相互の水理確認等)</p>
<p>【 備考】 財政計画の事業費は、No.1管渠建設事業の内数</p>	<p>【 国県施策名】 【 国補助率】 5 / 10 【 県補助率】 【 起債充当率】</p>

事業評価シート 2 合流式下水道緊急改善事業(雨天時越流水対策)(新規)

【 事業手法・推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
☒ 無 ☐ 有	

【 民間事業との競合】	
☒ 無 ☐ 有	

【 住民ニーズ、行政需要の動向】	
☐ 増加傾向 ☒ 不変 ☐ 減少傾向	

【 市が今行う必要性】	
☐ 無 ☒ 有	

【 事業外部の条件整備(関連事業等)】	
☒ 問題無 ☐ 要配慮	

【 事業成果(アウトカム)指標】					
指標	(調査事業であり、設定しない)				
選定理由					
計算・推計方法					
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標					
実績					

【 事業成果指標・備考】	
成果指標は、この調査により改善対象が確定してから設定する。	

事業説明シート 7 下水道会計繰出金(継続)

部局課所 下水道部下水道部総務課
 総合計画 1章 環境と調和し快適に暮らす魅力あるまち
 6節 上・下水道の整備
 2項 下水道の整備
重点テーマ 2 環境と調和したまちづくりの推進

【 事業の目的】 下水道事業の安定的な経営を図るため、一般会計から繰り出しを行う。	【 事業の対象】
【 全体事業概要】 下水道事業に対する一般会計からの繰出金	【 新年度事業概要】 下水道事業に対する一般会計からの繰出金
【 備考】	【 国県施策名】 下水道事業の推進 【 国補助率】 【 県補助率】 【 起債充当率】

事業評価シート 7 下水道会計繰出金(継続)

【 事業手法・推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
● 無 ○ 有	
【 民間事業との競合】	
● 無 ○ 有	
【 住民ニーズ、行政需要の動向】	
○ 増加傾向 ● 不変 ○ 減少傾向	
【 市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	
【 事業外部の条件整備(関連事業等)】	
● 問題無 ○ 要配慮	
【 事業成果(アウトカム)指標】	
指標	(指標を設定しない)
選定理由	
計算・推計方法	
留意事項	
指標の推移	H13年度 H14年度 H15年度 H16年度 H17年度
目標	
実績	
【 事業成果指標・備考】	
繰り出し金ではなく、個別事業について成果指標を設定する。	

事業説明シート 9 企業会計移行事業(終了)

部局課所 下水道部下水道部総務課
 総合計画 1章 環境と調和し快適に暮らす魅力あるまち
 6節 上・下水道の整備
 2項 下水道の整備
重点テーマ 2 環境と調和したまちづくりの推進

<p>【 事業の目的】</p> <p>下水道事業に企業会計を適用する。</p> <p>(企業会計化の目的)</p> <p>1. 一般行政から独立することにより、事業の経済性、効率性を図る。</p> <p>2. 経費負担区分としての公費負担と受益者負担を明確にする。</p> <p>3. 経営状況および財務状態を明確にし、事業運営の健全性を確保する。</p>	<p>【 事業の対象】</p> <p>下水道事業の全受益者</p>
<p>【 全体事業概要】</p> <p>平成14年4月1日から、下水道事業に企業会計を適用する。</p> <p>(主な準備業務)</p> <p>1 資産評価 調査準備、調査、原価計算、貸借対照表作成</p> <p>2 財務会計 システム設計、開発業務委託、試行</p> <p>3 調整 議会、労働組合、国、県、関係部局と協議</p> <p>4 条例規則 調査、研究、作成、議決</p> <p>5 会計 出納および収納取扱金融機関の指定、収入役事務引継、打切決算</p>	<p>【 新年度事業概要】</p>
<p>【 備考】</p> <p>特別交付税措置(準備経費の1/2)あり</p>	<p>【 国県施策名】 地方財政計画(総務省)</p> <p>【 国補助率】</p> <p>【 県補助率】</p> <p>【 起債充当率】</p>

事業評価シート 9 企業会計移行事業(終了)

【 事業手法・推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】

無 有

【 民間事業との競合】

無 有

【 住民ニーズ、行政需要の動向】

増加傾向 不変 減少傾向

【 市が今行う必要性】

無 有

【 事業外部の条件整備(関連事業等)】

問題無 要配慮

【 事業成果(アウトカム)指標】	
指標	
選定理由	
計算・推計方法	
留意事項	

指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標					
実績					

【事業成果指標・備考】
(平成14年度事業が無いため、評価項目なし)

12下水 9